

TOPICS 【平成 23 年（2011 年）1 月以前】

- **吉井 光信 先生**（式場病院/北陸学院大学教授・D47）

[文月会会長（7 代目）](#) に就任

平成 23 年 1 月 22 日 第 50 回文月会総会にて承認

- **市田 隆文 先生**（順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科教授・D50）

第 42 回日本臨床分子形態学会の会長に就任

平成 22 年 9 月 24-25 日 東レ総合研修センター（静岡県三島市）にて開催

- **米山 博之 先生**（ステリック再生医科学研究所代表取締役・DH05）

科学技術振興機構（JST）の大型研究助成金（10 億円/5 年）を獲得

[研究課題] RNA 干渉によるクローン病腸狭窄症治療薬

[研究代表] 新潟大学 鈴木健司講師（D62）

- **宮村 達男 先生**（国立感染症研究所所長・D45）

第 57 回日本ウイルス学会学術集会の会長に就任

平成 21 年 10 月 25 日 - 27 日 都市センターホテル（東京都千代田区）にて開催

- **橋本 裕二 先生**（鉄蕉会亀田総合病院循環器内科主任部長・D51）

第 213 回日本循環器学会関東甲信越地方会の会長に就任

平成 21 年 9 月 26 日 東京ステーションコンファレンス（東京都千代田区）にて開催

- **武藤 孝司 先生**（獨協医科大学公衆衛生学講座教授・D53）

First Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education

（第 1 回アジア太平洋ヘルスプロモーション健康教育学会）の会長に就任

平成 21 年 7 月 18 日 - 20 日 幕張メッセ（千葉市）にて開催

- **山寺 博史 先生**（杏林大大学医学部精神神経科准教授・D51）

第 11 回日本薬物脳波学会学術集会の会長に就任

平成 20 年 6 月 20 日 - 21 日 ホテル日航東京（東京都港区）にて開催

- **斎藤 康 先生**（千葉大学大学院医学研究院細胞治療学教授・D43）

千葉大学長に就任（平成 20 年 4 月 1 日）

- **菊池 利夫 先生**（榊原サピアタワークリニック・D49）

[文月会会長（6代目）](#) に就任

平成 20 年 1 月 26 日 第 44 回文月会総会にて承認

- **鈴木 憲史 先生**（日本赤十字社医療センター血液内科部長・D51）

第 32 回日本骨髄腫研究会総会の会長に就任

平成 19 年 11 月 10 日 日本赤十字看護大学 広尾ホール（東京都渋谷区）にて開催

- **和泉 徹 先生**（北里大学医学部循環器内科学教授・D46）

第 10 回日本心不全学会学術集会の会長に就任

平成 18 年 10 月 13 日 - 15 日 都市センターホテル（東京都千代田区）にて開催

- **望月 紘一 先生**（東京内科医会会長・D42）

第 2 回（通算 20 回）日本臨床内科医学会の会長に就任

平成 18 年 9 月 16 日 - 18 日 東京プリンスホテル パークタワー（東京都港区）にて開催

- **和賀井 敏夫 先生**（順天堂大学名誉教授・D24）

「超音波診断法の創始と発展に関する研究」で[日本学士院賞受賞](#)（平成 18 年 7 月 3 日）

- **宮野 佐年 先生**（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座教授・D42）

第 43 回日本リハビリテーション医学会学術集会の会長に就任

平成 18 年 6 月 1 日 - 3 日 東京プリンスホテル パークタワー（東京都港区）にて開催

- **宮村 達男 先生**（国立感染症研究所ウイルス第二部長・D45）

国立感染症研究所（旧国立予防衛生研究所）所長に就任（平成 18 年 4 月 1 日）

- **小早川 隆敏 先生**（東京女子医科大学国際環境-熱帯医学教室主任教授・D45）

「ラオスで母子保健教育」で医療功労賞（平成 18 年 2 月 13 日に帝国ホテルにて表彰式）

- 「文月会誌」創刊号を発刊（平成 18 年 1 月 28 日）

- **武藤 孝司 先生**（獨協医科大学公衆衛生学講座教授・D53）

The 13th International Congress on Occupational Health Services

（第 13 回産業保健サービスに関する国際会議）の会長に就任

平成 17 年 12 月 1 日 - 3 日 栃木県総合文化センター（宇都宮市）にて開催

- 「文月会ホームページ」開設（平成 17 年 9 月 12 日）

文月会会長 **高木敏之**（千葉県がんセンター医療局長・D42）



この度「新潟医学振興財団ホームページ」に、「文月会」の連絡コーナーができました。追手理事ならびに曾我事務局長をはじめ財団の皆様のご好意の賜物と、深く感謝を申し上げます。

文月会は、関東甲信静（主に首都圏）に在住の新潟大学医学部卒業生の学術交流会です。関東甲信静学生会支部の“若手勤務医の支援団体”とお考え下

さると判りやすいと思います。文月会は、首都圏にある大学や大病院に勤務

する新潟大学医学部卒業生で指導的な立場にあるものの集いとして発足し、昭和53年（1978年）に第1

回の会合がもたれました。昭和60年（1985年）からは、会員の若手指導者が、自分の研究分野について

判りやすく解説するという企画が加えられ、会合が7月に行われることが多かったため、昭和61年

（1986年）に「文月会」と名づけられました¹⁾。当初は会員の資格として、大学の講師以上あるいは病

院の部長以上としていましたが、平成14年から資格制限を取り払いましたので、新潟を離れ首都圏に修

練、活躍の場を求めて頑張っているすべての同窓生は「文月会」に参加する資格があります²⁾。

文月会の目的とするところは、発足当初から今にいたるまで一貫しております。すなわち、首都圏にある

大学や病院に勤務し、母校の地新潟を離れて、それぞれの地域・職域で実績を上げている同窓生が、お互

いに情報を交換し、医療に対する意欲と実績を知ると同時に、首都圏で診療と研究に励んでいる後輩たち

の「道しるべ」となり、「後ろ盾」になることです。さらに一步進んで、優秀で業績のある同窓生の職位のプロモーションに力を発揮することも、文月会の大切な役割であると思います。このことは、さまざまな医科大学がひしめき合い、壮烈な職位争奪合戦が行われている首都圏で仕事をしている同窓生には、よく判ってもらえることと思います。新潟大学同窓生の多くは、優秀で、克己精励し、その職域・地域でかけがえのない仕事をしているにも拘わらず、必ずしも正当に評価されないことがあります。その理由のなかに、「自らの能力・実績を誇示しようとしな（宣伝が下手）」、「組織の力で職位をえようとしな（頼るべき学閥がない）」ということがあると思います。文月会発足当時に比べれば緩和されたとは思いますが、学閥は依然として厳しく存在します。文月会の有力メンバーは後輩のために力を貸してやらねばなりません。

いま文月会は、先輩諸先生方のご意志をもう一度思い起こして、現状にあった組織に作り直す作業を始めました。それは、優秀で実力のある現役世代をリクルートして、お互いが切磋琢磨して、さらに実力と職位の向上につなげることができる、そんな組織にすることです。首都圏の激しい競争のなかで頑張っている、若い同窓生諸君！ぜひ文月会に参加して下さい。先輩諸先生方には、皆様方がここまで創り上げた文月会をさらに発展させるよう努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。

参考資料

1. 荻野洋一 (2003) 文月会発足の経緯とこの会が目指したこと - 文月会発足 25 周年を記念して.

学士会会報 80: 15-18.

2. 菊池利夫 (2003) 文月会. 学士会会報 79: 33.

文月会会長 菊池利夫（榊原サピアワーククリニック・D49）

このたび前会長の高木敏之先生（D42）の後を引継ぎ会長を勤めさせていただくことになりました。浅学菲才の身ではありますが、文月会の発展に少しでもお役にたてるよう努力していきたいと思いますので、宜しくお願いします。



高木前会長は若手のリクルートに力を注ぎましたが、これを継続しておこなっていきたいと思います。というのも、卒後の初期研修の義務化以来、東京を中心とした首都圏で研修を受ける卒業生が増えているからであります。平成 20 年は卒業生 94 名中 37 名にも及んでおります（静岡、長野、山梨を含む）。今後この傾向は続くであろうと思われます。

私は、母校・新潟大を離れ、右も左もわからぬ首都圏の地で、頼る先輩もいない環境の中で医師生活をスタートさせる後輩たちに、少しでも不安の解消に役立てばと思い（首都圏にはたくさんの先輩がいて君たちをバックアップするから心配するな・・・）、卒業式の際（学士会入会の際）に文月会の存在をアナウンスしてほしい旨、お願いをしたことがあります。そうしたところ、学士会会長から同窓会誌に文月会のことを書くようにとの返事が来て、文月会の紹介文を書かせていただきました（学士会会報 79: 33, 2003

年)。その後、私の文章を読んだ文月会創始者の荻野洋一先生 (D24) が「文月会発足の経緯とこの会が目指したこと - 文月会発足 25 周年を記念して」と題した文章を寄せ (学会会報 80: 15-18, 2003 年)、文月会の存在が知られるようになりました。

文月会は、昭和 53 年 (1978 年) に新潟大学出身者で「首都圏の大学に勤務する講師以上または大病院 (基幹病院) の部長以上」を会員資格として発足しました。文月会の名の謂 (いわ) れは、会合が 7 月 (文月) に行われることが多かったためとされております。

平成 14 年 (2002 年)、数多くの若手にも門戸を開いて学术交流の場を広げるために、高木前会長の提案で講師、部長以上の会員資格制限を取り払いました。すなわち、首都圏の大学、病院、研究所などで修練、活躍の場を求めて切磋琢磨しているすべての学会会員は、文月会会員であるということに致しました。

平成 18 年 (2006 年) 1 月には吉井光信先生 (D47) を編集長として「文月会誌」第 1 号が刊行され、学术交流の場が更に広がり、質も深みを増しました。

私は交流の場が更に深まるべく会員のデータベース作りを行いたいと思っています。勤務先、専門科目のほか、更に細分化した得意科目、研究テーマ、診療日、手術日……。会員が具体的にどういうことをしているのか、そういうデータベースがあればいいなと考えています。それによって交流、情報交換などが益々スムーズに行くのではないかと考えております。会員の皆様のご協力をお願いする次第であります。

さて、文月会の中には、バイオベンチャーを立ち上げた会員もいます。仕事上、医療だけに携わっている場合と異なり、薬学、化学、金融関係・・・異なる業種の人たちともかかわりを持たなければなりません。異業種との交流はそれぞれ専門の領域の仕事に幅や広がりをもたらすことが多々あります。幸い新潟大学は、文系・理系・医歯学系を有する総合大学であり、首都圏にはそれぞれの分野、職域でポジションを得ている各学部の卒業生が数多くおり、30年以上前から全学部の首都圏同窓会が結成されております。文月会としても首都圏同窓会との交流、連携を深めていきたいと思っております。

また、新潟大学の国立大学法人化に伴い、首都圏における新潟大学の各種情報発信・収集、産学官連携推進などの基地として、東京事務所が田町駅そばのキャンパスイノベーションセンター（CIC）に開設されました。文月会はこの東京事務所とも連携をはかり、交流の場を広げていきたいと思っております。

文月会は、首都圏において志を持って自己研鑽を積む学士会会員の学術交流と親睦・情報交換の場です。多くの若手会員の参加をお待ちしております。また、諸先輩の益々のご支援を願っております。

文月会会長 **吉井光信**（式場病院長・D47）

このたび菊池利夫先生（D49）の後任として文月会会長を拝命しました。文月会では高木敏之会長（D42）の時代より広報幹事としてホームページおよび文月会誌を担当してまいりました。着任に当たり、ご挨拶を申し上げます。



文月会は昭和 53 年（1978 年）に発足しましたが、昭和 46 年から源流

となる活動が始まっていました。呼びかけ人は平成 22 年に逝去された荻野洋一先生（聖マリアンナ医科大学名誉教授・B24）です。文月会の目的は、会員の学術交流を通じて若手の同窓生を支援し、会員相互の親睦を深め、職業的、社会的活動の発展、職位の向上を図ることにあります。

東京近郊には優れた業績をあげ、学会で高い評価を受けている母校出身者が多数おられます。若い研修生や若手医師にとって、こうした立派な指導者の許で努力を重ね、自己の能力や才能を伸ばし、次代を担う人になれることは大いなる夢であり、先輩達の希うところでもあります。そのためには東京近郊で指導的立場にある人達との交流と相互の情報交換が必要です。

このように若い有能な後輩に励ましや助言ができる組織として文月会が発足しました。7月（ふみづき）に例会をもっていたので「文月会」と名付けられました。

現在は7月に加えて1月にも例会（総会）をもっています。1月の総会は有壬会の東京6支部と合同で開催しています。7月の会場は住友化学参宮寮（東京都渋谷区）、1月の会場はアルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）です。どちらも土曜日の夕方から総会があり、続いて特別講演（2題）があります。常に参加者の関心が高く、白熱した論議が交わされます。夜の懇親会では素晴らしい料理とドリンクがあり、歓談が続きます。詳しくは文月会ホームページ上の文月会総会の案内をご覧ください。総会および懇親会への参加は卒後2年までは無料ですので、気軽にお越しください。

文月会は永らく若手医師にとって敷居が高い存在で、例会には招かれますが会員にはなれませんでした。会を発展させるためには若手のリクルートが必要であるとの認識から、高木会長の時代に組織改革が行われ、母校出身者であれば誰でも入会できるようになりました。文月会は若手医師にとってより身近な存在となり、若手会員も大幅に増えました。

高木会長による改革の一環として平成18年（2006年）には機関誌「文月会誌」が創刊されました。これを要として学术交流の場が更に広がり、相互理解の深みも増しました。

菊池会長の時代には文月会の活動に新たな挑戦が始まりました。新潟大学の国立大学法人化に伴い、新潟大学東京事務所がJR田町駅の近くのキャンパス・イノベーションセンター東京の611号室に設置されました。ここは首都圏における新潟大学の各種情報発信・収集、産学官連携推進などの基地であり、新潟大

学首都圏同窓会のセンターでもあります。菊池会長は東京事務所を通して首都圏同窓会との交流、連携に
尽力されました。

このような高木先生による組織の改革、菊池先生による交流の拡大により、文月会はその存在意義が増し
ました。両先生のご尽力により固められた礎に皆とともに立ち、文月会の更なる飛躍をめざし努力する所
存です。今後ともよろしく願い申し上げます。（平成23年1月22日）

第 41 回 文月会総会

特別講演 (1) 「国際協力に望むこと」

講師 東京女子医科大学教授 小早川 隆敏 先生 (D45)



特別講演 (2) 「グローバルレベルの疾患コントロール：ポリオに学ぶ」

講師 国立感染症研究所長 宮村 達男 先生 (D45)



第 41 回文月会総会は7月8日（土）にアルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）で開催されました。当日は特別講演が2題あり、40名近い会員の出席がありました。来賓として、新潟からは山本正治先生（前医学部長・学士会総務幹事）、成澤林太郎先生（学士会庶務幹事）、岩淵三哉先生（学士会広報幹事）、西慎一先生（学士会幹事長補佐）、東京からは廣澤光郎先生（学士会副会長）にお越しいただきました。来賓の先生方より母校の現況と学士会の活動が報告されました。

世話人会では、懸案の「文月会会則」改正が討議され、改正案が総会で了承されました。「文月会誌」2号は年内に発刊することが決まり、会則の改訂版が掲載される予定です。

次回（第 42 回）の総会（有任会東京支部連合会との合同総会）は、来年1月27日（土）にアルカディア市ヶ谷で開催されます。当番幹事は関根忠一先生（D56）で、市田隆文先生（D50）の特別講演が予定されています。次々回（第 43 回）は来年7月14日（土）の予定です。当番幹事は岩間厚志先生（D62）に決まりました。

文月会会長 高木 敏之（D42） 千葉県がんセンター

当番幹事 伊藤 雅治（D43） 全国社会保険協会連合会

庶務幹事 菊池 利夫（D49） 榊原記念病院

第 42 回 文月会総会・有壬会東京支部連合会総会

特別講演 (1) 「プリオン病研究の現状と課題」

講師 東京医科大学医学部 神経生理学講座 教授 金子 清俊 先生 (D58)



特別講演 (2) 「沈黙の臓器に潜むサイレントキラー：C型肝炎ウイルス」

講師 順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科 教授 市田 隆文 先生 (D50)



第42回文月会総会は去る1月27日（土）にアルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）で開催されました。来賓として、新潟大学医学部学士会（有壬会）より会長の追手 巍先生（腎研究施設機能制御学分野教授・D46）、総務幹事の下條文武先生（医歯学総合病院長 / 腎・膠原病内科学分野教授・D43）、庶務幹事の山内春夫先生（法医学分野教授・D49）にお越しいただきました。

今回は有壬会東京支部連合会との合同総会となり、63名の出席がありました。会場では新着の「文月会誌」第2号が出席者全員に配布されました。

総会に先立ち、文月会の世話人会がありました。次回（第43回）は本年（平成19年）7月14日（土）に住友化学参宮寮で行うことになりました。当番幹事は岩間厚志先生（D62）です。また次々回（第44回）の総会（有壬会東京支部連合会との合同総会）は来年1月26日（土）にアルカディア市ヶ谷で開催されます。当番幹事は市田隆文先生（D50）に決まりました。

合同総会は総会担当の吉井光信・東京西部支部長（文月会広報幹事・D47）の挨拶で始まり、文月会の高木敏之会長、来賓各位、東京の各支部長からの挨拶・報告がありました。また、今秋の有壬会関東甲信静連合総会を担当する千葉支部長の村田房雄先生（D30）からの挨拶もありました。

特別講演では、金子清俊先生（D58）によるプリオン病、市田隆文先生（D50）によるC型肝炎ウイルスに関する最新の話題が提供され、参加者の関心も高く、白熱した論議が交わされました。

懇親会は広澤光郎先生（有壬会副会長・D34）、追手先生の挨拶、村上敏雄先生（前副会長・B25）による乾杯の音頭で始まりました。ショータイムでは旧ユーゴスラビアの歌姫・ヤドランカさんによる歌とトークは素晴らしく、会に華を添えました。東京南部支部長の板井 勉先生（文月会監事・D47）による閉会の辞で、盛会の内に幕を閉じることができました。

文月会会長 高木 敏之（D42） 千葉県がんセンター

庶務幹事 菊池 利夫（D49） 医療法人社団榊原厚生会

当番幹事 関根 忠一（D56） 済生会川口総合病院

第 43 回 文月会総会

特別講演 (1) 「多発性骨髄腫の診断と治療の新展開」

講師 日本赤十字社医療センター 血液内科部長 鈴木憲史 先生 (D51)



特別講演 (2) 「糖尿病眼合併症に対する最近の治療」

講師 東京大学大学院感覚運動機能医学講座 眼科・視覚矯正科准教授 加藤 聡 先生 (D62)



第43回文月会総会は7月14日（土）に住友化学参宮寮（東京都渋谷区）で開催されました。当日は特別講演が2題あり、台風接近による悪天候にも拘わらず30名近い会員の出席がありました。来賓として、新潟大学医学部学士会（有壬会）会長の追手 巍先生（腎研究施設機能制御学分野教授・D46）ならびに副会長の青柳 豊先生（消化器内科学分野教授・D48）にお越しいただきました。来賓の先生方より、母校の現況と有壬会の活動が報告されました。

総会に先立ち、文月会の世話人会がありました。高木会長、岩間先生（当番幹事）の挨拶のあと、議事に入りました。議題の中心は、音信のない年長会員の処遇に関してでした。8月下旬に予定している文月会誌編集委員会で、高木会長とともに検討することになりました。総会は高木会長の挨拶で始まり、庶務幹事、会計幹事、広報幹事がそれぞれ報告を行いました。

特別講演では、鈴木憲史先生（D51）による多発性骨髄腫、加藤 聡先生（D62）による糖尿病眼合併症に関する最新の話題が提供され、参加者の関心も高く、質問が相次ぎました。

懇親会は文月会会長の高木先生、有壬会会長の追手先生、聖マリアンナ医大名誉教授の竹山 勇先生

（D30）による挨拶、順天堂大学名誉教授の和賀井敏夫先生（B24）による乾杯の音頭で始まりました。

追手先生は、これからの大学の命運を決するのはリクルートであり、優秀な人材を擁する文月会に期待して止まない旨、話されました。久方ぶりの住友化学参宮寮での文月会であり、素晴らしい料理とドリンクとともに歓談が続きました。全員で写真を撮り、盛会の内に幕を閉じることができました。

次回の第 44 回文月会総会は、平成 20 年 1 月 26 日（土）にアルカディア市ヶ谷で開催されます。当番幹事は順天堂大学教授の市田隆文先生（D50）です。本総会は有壬会東京支部連合会との合同総会となり、企画運営は有壬会東京南部支部が担当します。担当支部長は板井 勉先生（文月会監事・D47）です。

次々回の第 45 回文月会総会は平成 20 年 7 月上旬（土曜日）を予定していますが、日時・会場は未定です。当番幹事は関 博之先生（埼玉医大産婦人科教授・D54）が世話人会で推薦されました。

文月会会長 高木 敏之（D42） 千葉県がんセンター

当番幹事 岩間 厚志（D62） 千葉大学大学院医学研究院

庶務幹事 菊池 利夫（D49） サピアタワークリニック

第 44 回 文月会総会・有壬会東京支部連合会総会

特別講演（1）「NASH 治療への挑戦」

講師 ステリック再生医科学研究所 所長

米山 博之 先生 (DH5)



特別講演（2）「大腸がんで死なさない」

講師 昭和大学医学部 教授 ・ 横浜市北部病院 副院長

工藤 進英 先生 (D48)



第44回文月会総会は去る1月26日(土)にアルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)で開催されました。今回は有壬会東京支部連合会との合同総会となり、69名の出席がありました。新潟からは、新潟大学医学部学士会(有壬会)会長の追手 巍先生(腎研究施設機能制御学分野教授・D46)、集会幹事の高橋公太先生(腎泌尿器病態学教授・D49)、三井田 孝先生(病院検査部講師・D58)、幹事長補佐の高橋 昌先生(第二外科講師・D63)にお越しいただきました。会場では新着の「文月会誌」第3号が配布されました。

総会に先立ち、文月会の世話人会がありました。高木敏之先生(D42)が会長から退かれ、新会長に菊池利夫先生(D49)が選ばれました。また、副会長も原澤 茂先生(D43)から市田隆文先生(D50)に替わりました。

合同総会は総会担当の板井 勉先生（D47）の挨拶で始まり、文月会の新旧会長、来賓各位、東京の各支部長からの挨拶・報告がありました。また、今秋の有壬会関東甲信静連合総会を担当する埼玉支部の支部長・原澤 茂先生（D43）からの挨拶もありました。

特別講演では、米山博之先生（DH5）による非アルコール性脂肪肝炎（NASH）、工藤進英先生（D48）による大腸癌に関する最新の話題が提供され、参加者の関心も高く、白熱した論議が交わされました。

懇親会は広澤光郎先生（有壬会副会長・D34）、追手先生の挨拶、村上敏雄先生（前副会長・B25）による乾杯の音頭で始まりました。ショータイムでは歌手の口ミ山田さんをお迎えし、素晴らしい歌とトークは会に華を添えました。最後は次期合同総会担当の東京北部支部長・船木依子先生（D33）による閉会の辞で、盛会の内に幕を閉じることができました。

次回の文月会総会は7月12日（土）に参宮橋大日本住友寮で行うことになりました。当番幹事は関 博之先生（D54）です。また次々回（有壬会東京支部連合会との合同総会）は来年1月24日（土）にアルカディア市ヶ谷で開催されることになりました。当番幹事は後藤重則先生（D56）です。

文月会会長 高木 敏之（D42） 千葉県がんセンター

庶務幹事 菊池 利夫（D49） サピアタワークリニック

当番幹事 市田 隆文（D50） 順天堂大学医学部附属静岡病院

第 45 回 文月会総会



特別講演 「日本学士院賞受賞に関連して」

講師 順天堂大学 名誉教授

和賀井 敏夫 先生 (B24)



第45回文月会総会は平成20年7月12日（土）に住友化学参宮寮（東京都渋谷区）で開催されました。当日は和賀井敏夫先生（B24）の「日本学士院賞受賞に関連して」と題した特別講演がありました。

来賓として、新潟大学医学部学士会（有壬会）集会幹事の高橋公太先生（腎泌尿器病態学教授・D49）ならびに庶務幹事の成澤林太郎先生（光学医療診療部准教授・D54）にお越しいただきました。

総会に先立ち、文月会の世話人会がありました。菊池利夫会長、関博之先生（当番幹事）の挨拶のあと、議事に入りました。関根庶務幹事より庶務報告、成高義彦会計幹事より会計報告、吉井光信広報幹事より文月会誌の会計報告があり、了承されました。

総会は菊池会長の挨拶で始まり、庶務幹事、会計幹事、広報幹事がそれぞれ報告を行いました。引き続き来賓の先生方より、母校の現況と有壬会の活動が報告されました。

特別講演は荻野洋一先生（B24）の司会により始められました。和賀井敏夫先生は超音波診断法開発にまつわる裏話や晴れの授賞式での体験談を披露され、一同興味深く拝聴しました。先生は学士院賞の候補を積極的に立てるべきだと力説され、文月会に期待を寄せられました。



懇親会は文月会会長の菊池先生による挨拶、荻野先生による乾杯の音頭で始まりました。素晴らしい料理とドリンクがあり、歓談が続きました。今回は参加者が少なめでしたが、幸いなことに若手の参加が目立ちました。全員で写真を撮り、盛会の内に幕を閉じることができました。

次回の第46回文月会総会は、平成21年1月24日（土）にアルカディア市ヶ谷で開催されます。当番幹事は後藤重則先生（瀬田クリニック・D56）です。本総会は有壬会東京支部連合会との合同総会となります。

次々回（第47回）文月会総会は平成21年7月上旬（土曜日）を予定していますが、日時・会場は未定です。当番幹事は加藤博之先生（東京女子医大東医療センター・D59）です。

文月会会長 菊池 利夫 (D49) 榑原サピアタワークリニック

当番幹事 関 博之 (D54) 埼玉医科大学総合医療センター

庶務幹事 関根 忠一 (D56) 済生会川口総合病院

第 46 回 文月会総会・有壬会東京支部連合会総会

特別講演（1）第一部「眼の移植免疫反応の不思議」 第二部「日本の女性医師の生き方」

講師 日本医科大学眼科 准教授

堀 純子 先生 (DH02)



特別講演（2）「心に火をつける」

講師 ソニー・ミュージックエンタテインメント 元・社長

松尾 修吾 氏



第46回文月会総会は去る1月24日（土）にアルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）で開催されました。今回は有壬会東京支部連合会との合同総会となり、69名の出席がありました。新潟からは、新潟大学医学部学士会（有壬会）会長の追手 巍先生（腎研究施設機能制御学分野教授・D46）、幹事長の青柳 豊先生（第三内科教授・D48）、幹事長補佐の高橋 昌先生（第二外科講師・D63）にお越しいただきました。会場では新着の「文月会誌」第4号が配布されました。

総会に先立ち、文月会の世話人会があり、文月会の運営に関する打ち合わせが行われました。合同総会では、総会担当の船木依子先生（東京北部支部長・D33）の挨拶で始まり、文月会の菊池利夫会長（D49）、来賓各位、東京の各支部長からの挨拶・報告がありました。また、千葉支部長（文月会前会長）の高木敏之先生（D42）より東京支部連合会総会に千葉支部も加わりたいとの要望があり、承認されました。

特別講演では、堀 純子先生（DH02）による眼の移植免疫反応および女性医師の生き方についてのお話があり、参加者の関心も高く、白熱した論議が交わされました。また、松尾修吾氏（Sony Music Entertainment 元社長）による軽妙洒脱な体験談を披露していただき、会場は爆笑に包まれました。

懇親会は俳優女優の川口敦子氏によるアトラクションがありました。川口氏は船木先生の旧友であり、藤沢周平作「踊る手」を40分にわたり朗読されました。流石にプロだけあり、その語りに一同惹き付けられました。例年どおり追手先生の挨拶があり、村上敏雄先生（前副会長・B25）による力強い乾杯の音頭で食事が始まりました。最後は 次期合同総会担当の東京中部支部長・蒲谷 堯先生（D44）による閉会の辞で、盛会の内に幕を閉じることができました。

次回の文月会総会は7月11日（土）に参宮橋大日本住友寮で行うことになりました。当番幹事は加藤博之先生（D59）です。

文月会会長 菊池 利夫（D49） 榊原サピアワーククリニック

当番幹事 後藤 重則（D56） 瀬田クリニック

庶務幹事 関根 忠一（D56） 済生会川口総合病院

第 47 回 文月会総会



特別講演（1）「脂質代謝異常と認知症」

講師 順天堂大学医学部臨床検査医学 教授

三井田 孝 先生 (D58)



特別講演（２）「病理学的エビデンスを重視する最近の乳がん診療」

講師 埼玉県立がんセンター病理診断科 部長

黒住 昌史 先生 (D53)



第47回文月会総会は平成21年7月11日（土）に住友化学参宮寮（東京都渋谷区）で開催されました。

当日は特別講演が2題あり、20名を超す会員の出席がありました。来賓として、新潟大学医学部学士会

（有壬会）幹事長の青柳 豊先生（第三内科教授・D48）にお越しいただきました。

総会に先立ち、文月会の世話人会がありました。菊池利夫会長、加藤博之先生（当番幹事）の挨拶のあ

と、議事に入りました。関根庶務幹事より庶務報告、成高義彦会計幹事より会計報告、吉井光信広報幹事

より文月会誌の会計報告があり、了承されました。次に会計幹事の交替があり、長期にわたり会計幹事の

任に着かれていた成高義彦先が退かれ、後任として後藤重則先生（庶務幹事補佐）が菊池会長より指名され

ました。

総会は菊池会長の挨拶のあと、来賓の青柳先生より母校の現況と有壬会の活動の報告を受けました。

特別講演では、三井田 孝先生（D58）による脂質代謝異常と認知症との関係について、また黒住昌史先生

（D53）による乳がん診療における病理学的エビデンスの重要性について、ご自身の研究をもとに解りや

すく解説していただきました。参加者の関心も高く、質問が相次ぎました。



懇親会は文月会会長の菊池先生による挨拶、前会長の高木先生による乾杯の音頭で始まりました（写真）。素晴らしい料理とドリンクがあり、歓談が続きました。惜しむらくは、学术交流の好機に多数の文月会員の参加が得られなかったことであり、連絡方法に今後の課題が残りました。

次回（第48回）の文月会総会は、平成22年1月23日（土）にアルカディア市ヶ谷で開催されます。当番幹事は清水忠夫先生（東京女子医大東医療センター・D54）です。本総会は有任会東京支部連合会との合同総会となります。

次々回（第49回）の文月会総会は平成22年7月上旬（土曜日）を予定していますが、日時・会場等は未定です。

文月会会長 菊池 利夫 (D49) 榊原サピアタワークリニック

庶務幹事 関根 忠一 (D56) 済生会川口総合病院

当番幹事 加藤 博之 (D59) 東京女子医科大学東医療センター

第 48 回 文月会総会・有壬会東京支部連合会総会

特別講演（1）「埼玉県における周産期医療の現状」

講師 埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 教授

関 博之 先生 (D54)



特別講演（2）「腎疾患のゲノム医科学」

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 内部環境医学講座 教授

成田 一衛 先生 (D58)



第48回文月会総会は去る1月23日(土)にアルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)で開催されました。今回は有壬会東京支部連合会との合同総会となり、約60名の出席がありました。新潟からは、新潟大学医学部学士会(有壬会)会長の追手 魏先生(腎研究施設機能制御学分野教授・D46)、理事の成田一衛先生(内部環境医学教授・D58)にお越しいただきました。会場では新着の「文月会誌」第5号が配布されました。

総会に先立ち、文月会の世話人会があり、文月会の運営に関する打ち合わせが行われました。合同総会では、総会担当の蒲谷 堯先生(東京中部支部長・D44)の挨拶で始まり、文月会の菊池利夫会長(D49)、来賓各位の挨拶があり、最後に広澤光朗先生(有壬会副会長・D34)より東京6支部の統合に関する意向が伝えられました。

特別講演では、関 博之先生（D54）による周産期医療における現場での問題点が紹介され、また成田一衛先生（D58）による腎疾患のゲノム医科学という最先端技術のお話があり、参加者の関心も高く、白熱した論議が交わされました。

懇親会は例年通り村上敏雄先生（前副会長・B25）による力強い乾杯の音頭で始まりました。今回は余興がありませんでしたが、新メンバーの紹介や旧交を温める時間が十二分にとれ、例年になく盛り上がった会となりました。最後は 次期合同総会担当の東京三多摩支部長・阿部 穰先生（D39）による閉会の辞で、盛会の内に幕を閉じることができました。

次回の文月会総会は7月3日（土）に参宮橋大日本住友寮で行うことになりました。当番幹事は三井田 孝先生（D58）です。

文月会会長 菊池 利夫（D49） 榊原サピアワーククリニック

庶務幹事 関根 忠一（D56） 済生会川口総合病院

当番幹事 清水 忠夫（D54） 東京女子医大東医療センター

第 49 回 文月会総会



特別講演（1）「アミロイドーシスとその病因蛋白」

講師 自治医科大学 臨床検査医学 教授

山田 俊幸 先生 (D59)



特別講演（2）「心房細動の薬物治療 - アップストリームへの挑戦 -」

講師 北里大学医学部 循環器内科学診療 教授

庭野 慎一 先生 (D59)



第 49 回文月会総会は平成 22 年 7 月 3 日（土）に住友化学参宮寮（東京都渋谷区）で開催されました。

当日は特別講演が 2 題あり、30 名ほどの出席がありました。来賓として、新潟大学医学部学士会（有壬会）庶務幹事 2 名の先生 -- 鷲山和雄先生（脳研究所准教授・D51）と河内 浩先生（腎研究施設教授・D62） -- にお越しいただきました。

総会に先立ち、文月会の世話人会がありました。菊池利夫会長の挨拶のあと、議事に入りました。加藤博之庶務幹事より庶務報告、後藤重則会計幹事より会計報告、吉井光信広報幹事より文月会誌の会計報告があり、了承されました。

総会は菊池会長の挨拶のあと、来賓の鷲山先生より母校の現況と有壬会の活動の報告を受けました。

特別講演では、山田俊幸先生（D59）によるアミロイドーシスとその成因について、また庭野慎一先生（D59）による心房細動の薬物治療について、ご自身の研究をもとに解りやすく解説していただきました。参加者の関心も高く、白熱した論議が交わされました。



懇親会は文月会会長の菊池先生、前会長の高木先生による挨拶、小船井良夫先生（D36）による乾杯の音頭で始まりました（写真）。素晴らしい料理とドリンクがあり、歓談が続きました。

次回（第50回）の文月会総会は、平成23年1月22日（土）にアルカディア市ヶ谷で開催されます。当番幹事は相馬孝博先生（東京医科大学・D57）です。本総会は有壬会東京支部連合会との合同総会となります。

次々回（第51回）の文月会総会は平成23年7月上旬（土）を予定していますが、日時・会場等は未定です。

文月会会長	菊池 利夫 (D49)	榊原サピアタワークリニック
庶務幹事	加藤 博之 (D59)	東京女子医大東医療センター
当番幹事	三井田 孝 (D58)	順天堂大学医学部

第 51 回 文月会総会



特別講演（1）「高血圧治療を上手に進めるコツ - 基礎と臨床の統合」

講師 国際医療福祉大学三田病院 内科 教授

佐藤 敦久 先生 (D60)



特別講演（2）「頸部内頸動脈狭窄と頭蓋底部内頸動脈瘤に対する血管内治療と外科手術」

講師 新潟大学脳研究所 脳神経外科分野 准教授

反町 隆俊 先生 (D60)



第 51 回文月会総会は平成 23 年 7 月 9 日（土）に住友化学参宮寮（東京都渋谷区）で開催されました。

当日は特別講演が 2 題あり、30 名ほどの出席がありました。来賓として、新潟大学医学部学士会（有壬会）より庶務幹事の山内春夫先生（法医学分野教授・D49）と幹事長補佐の高橋昌先生（呼吸循環外科学講師・D63）にお越しいただきました。

総会に先立ち、文月会の世話人会がありました。吉井光信会長の挨拶のあと、議事に入りました。加藤博之庶務幹事より庶務報告、後藤重則会計幹事より会計報告、吉井会長（広報幹事兼任）より「文月会誌」第 6 号（当日発刊）の報告がありました。

総会は吉井会長の挨拶のあと、来賓の山内先生、高橋先生より母校の現況と有壬会の活動の報告を受けました。また、菊池利夫・前会長より宮古における東日本大震災の救援活動の報告があり、文月会の支援に謝辞を述べられました。

特別講演では、佐藤敦久先生（D60）による高血圧症の成因と治療について、また反町隆俊先生（D60）による脳外科領域の血管内治療について、解りやすく解説していただきました。参加者の関心も高く、白熱した論議が交わされました。



懇親会は和賀井敏夫先生（D24）による乾杯の音頭で始まりました。素晴らしい料理とドリンクがあり、歓談が続きました。最後は、大震災で失われた故郷・石巻に対する望郷の念を和賀井先生に語っていただき、閉幕となりました。

次回（第 52 回）の文月会総会は、平成 24 年 1 月 21 日（土）にアルカディア市ヶ谷で開催されます。当番幹事は武藤孝司孝先生（獨協医科大学教授・D53）です。本総会是有任会東京支部連合会との合同総会となります。

文月会会長 吉井 光信（D47） 東京都医学総合研究所

庶務幹事 加藤 博之（D59） 東京女子医大東医療センター

当番幹事 神田 順二（D60） 旭中央病院

「日本も医療船など必要」

東日本大震災から六カ月が過ぎた。震災当時の現地の医療機関はどのような状況だったのか。その一端が新潟大学医学部出身者の会報「文月会誌」に紹介されている。会報誌には震災直後にライフラインが止まり医薬品が手に入らず、患者の深刻な様子もリアルに表現されている。

（編集委員・長竹孝夫）

「文月会」は、「新潟大学医学部首都圏同窓学術交流会」。年一度「文月会誌」を発行している。今回（第六号）は「東日本大震災特集」として、新潟大学DMAT

震災当時、被災地の医療状況は

新潟大の会報誌に医師たちが寄稿

（災害派遣医療チーム）や被災地に勤務する医師が寄稿した。その内容の一部を紹介する。

■岩手県立宮古病院（宮古市）・菊池利夫副院長

「次から次に患者さんが運び込まれてきた。津波にのみ込まれ心肺停止状態の中年女性、鎖骨や両大腿骨折の男性。津波の恐ろしさをまざまざと見せつけられた」

「通常診療に戻った後も、避難所で不自由な日々を過す、されている方たちが数多く来られ、ストレスで血圧が高くなった、狭心症や心筋梗塞になったり、風邪をこじらせて肺炎になったり」



津波で壊滅状態となった岩手県宮古市の中心部＝3月13日

■友仁会松島病院（宮城県松島町）・丹野尚院長
「病院は海岸線から百メートル、幸い津波は来なかったが、ライフラインの復旧までが長かった。電気は四日後、携帯電話とインターネットは五日後、固定電話は八日後、水道は一週間後で、診察後に手を洗えないのはストレスだった」

「困ったのはガソリン不足。JRが不通な中、通勤不能で欠勤せざるを得ない職員。病院に泊まり込んで仕事した職員もいた」

「病院から数ヶ先の東松島市は、集落と津波にのみ込まれた地域がいくつかあり、まさに壊滅的な状況。迫り来る津波から命からがら逃げ延びた」

「地震被害に加え大きな精神的な負担になったのが福島第一原発事故。三日後には患者をはじめ住民の多くが避難を決定。四日後には市内全域の調剤薬局の薬品在庫から命からがら逃げ延びた」

ライフライン途絶え ■ 4日で薬品在庫払底

「震災から一カ月半後に被災地を視察したが、今回は地震による緊急外傷より、今まで継続して受けていた治療を受けることができないという一種の医療難民化が問題となったことから、医療船、医療飛行機、医療車両の常備が重要ではないかと再認識した」

「現在、医療船を保有しているのは米国、英国、中国、豪州、ドイツの五カ国だけ。日本に船内で治療できる医療船はない。災害医療に即座に対応するためにも、さまざまな医療を迅速に受けられることができる医療船が必要である」

文月会総会 (Archives)

- [第63回文月会総会](#)

平成29年7月8日(土) 順天堂医院(東京)にて開催

特別講演(1)「冠動脈疾患診療の30年の歩み～1987から2017へ～」

講師 神田 順二 先生(国保旭中央病院 循環器内科主任部長・D60)

特別講演(2)「漢方診療への近道」

講師 新井 信 先生(東海大学医学部漢方医学 教授・D63)

- [第62回文月会総会\(有壬会東京支部連合会との合同総会\)](#)

平成29年1月21日(土) アルカディア市ヶ谷(東京)にて開催

特別講演(1)「胃電図 - 胃電図研究の思い出」

講師 本間 信治 先生(JA新潟医療センター 臨床検査部長 / 新潟大学大学院 名誉教授・

D42)

特別講演(2)「温故知新の心不全診療」

講師 猪又 孝元 先生(北里大学医学部循環器内科学 教授 / 北里研究所循環器内科部長・

DH01)

- **第 61 回文月会総会**

平成 28 年 7 月 9 日（土）順天堂医院（東京）にて開催

特別講演 (1) 「緑内障の現状」

講師 庄司 信行 先生（北里大学医療衛生学部 視覚機能療法学 教授・D63）

特別講演 (2) 「次世代スーパーコンピュータ開発の取り組み」

講師 齊藤 元章 先生（PEZY Computing 代表取締役社長・DH04）

- **第 60 回文月会総会（有壬会東京支部連合会との合同総会）**

平成 28 年 1 月 30 日（土）アルカディア市ヶ谷（東京）にて開催

特別講演 (1) 「形成外科と美容外科」

講師 酒井 成身 先生（国際医療福祉大学三田病院 形成外科・美容外科 教授・D45）

特別講演 (2) 「C 型肝炎に対する最新治療」

講師 神田 達郎 先生（千葉大学大学院医学研究院 消化器・腎臓内科学 講師・DH03）

- **第 59 回文月会総会**

平成 27 年 7 月 11 日（土）住友化学参宮寮（東京）にて開催

特別講演 (1) 「臨床医から研究者へ

－ 免疫恒常性維持機構の破綻による疾患の治療を目指して －」

講師 平原 潔 先生（千葉大学大学院 先進気道アレルギー学寄附講座 准教授・DH13）

特別講演 (2) 「医療における先天異常」

講師 黒澤 健司 先生 (神奈川県立こども医療センター 遺伝科部長・D63)

- 第 58 回文月会総会 (有壬会東京支部連合会との合同総会)

平成 27 年 1 月 23 日 (土) アルカディア市ヶ谷 (東京) にて開催

特別講演 (1) 「新規糸球体上皮細胞 (ポドサイト) 発現遺伝子から糖尿病腎症を考える」

講師 竹本 稔 先生 (千葉大学細胞治療内科学 准教授)

特別講演 (2) 「黄斑の神秘」

講師 飯田 知弘 先生 (東京女子医科大学眼科 主任教授・D60)

特別講演 (3) 「私が見てきたエボラ出血熱」

講師 岩崎 恵美子 先生 (前仙台検疫所長・D43)

- 第 57 回文月会総会

平成 26 年 7 月 12 日 (土) 住友化学参宮寮 (東京) にて開催

特別講演 (1) 「小腸はどこまでみえるのか」

講師 大塚 和朗 先生 (東京医科歯科大学消化器内科 教授・D63)

特別講演 (2) 「がん免疫療法は有効なのか? - 免疫細胞療法の現状と進歩 -」

講師 後藤 重則 先生 (瀬田クリニック 統括院長・D57)

- **第 56 回文月会総会（有壬会東京支部連合会との合同総会）**

平成 26 年 1 月 25 日（土）アルカディア市ヶ谷（東京）にて開催

特別講演 (1) 「乳癌治療の最前線」

講師 林 光弘 先生（東京医大八王子医療センター乳癌外科 教授・DH04）

特別講演 (2) 「多発性骨髄腫をとおして癌化学療法を考える」

講師 鈴木 憲史 先生（日赤医療センター 副院長・D51）

特別講演 (3) 「聴覚中枢伝導路のイメージング解析」

講師 高橋 姿 先生（新潟大学医学部長・D51）

- **第 55 回文月会総会**

平成 25 年 7 月 13 日（土）住友化学参宮寮（東京）にて開催

特別講演 (1) 「ギラン・バレー症候群の発症機序

－ 新潟で受け持った患者さんからシンガポールでラボをもつまで －」

講師 結城 伸泰 先生（国立シンガポール大学医学部内科学教室 教授・D62）

特別講演 (2) 「不思議な顕微鏡 "走査イオン伝導顕微鏡" の生物学応用」

講師 牛木 辰男 先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科顕微解剖学分野 教授・D57）

- **第 54 回文月会総会（有壬会東京支部連合会との合同総会）**

平成 25 年 1 月 19 日（土）アルカディア市ヶ谷（東京）にて開催

特別講演 (1) 「H C Vとインターフェロン - 過去、現在、そして -」

講師 大越 章吾 先生 (昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 講師・D58)

特別講演 (2) 「ABO 血液型不適合腎移植への挑戦 - 免疫学的禁忌の克服と臨床応用の普及 -」

講師 高橋 公太 先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科腎泌尿器病態学分野 教授・D49)

- 第 53 回文月会総会

平成 24 年 7 月 14 日 (土) 住友化学参宮寮 (東京) にて開催

特別講演 (1) 「インフルエンザの治療と薬剤耐性」

講師 齋藤 玲子 先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科国際保健学分野 教授・DH03)

特別講演 (2) 「内科腫瘍学と個別化治療」

講師 宮 敏路 先生 (日本医科大学多摩永山病院呼吸器・腫瘍内科 教授・D60)

- 第 52 回文月会総会 (有壬会東京支部連合会との合同総会)

平成 24 年 1 月 21 日 (土) アルカディア市ヶ谷 (東京) にて開催

特別講演 (1) 「新潟発! 空飛ぶトリアージタグ "エアタグ"

- 災害医療の情報管理 中越沖地震から東日本大震災へ -」

講師 高橋 昌 先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸循環外科学分野 講師・D63)

特別講演 (2) 「糖尿病性腎症について - 各種治療の病期における重み付けの違い -」

講師 竹田 徹朗 先生 (獨協医科大学越谷病院 腎臓内科 主任教授・D63)

- **第 51 回文月会総会**

平成 23 年 7 月 9 日 (土) 住友化学参宮寮 (東京) にて開催

特別講演 (1) 「高血圧治療を上手に進めるコツ - 基礎と臨床の統合」

講師 佐藤 敦久 先生 (国際医療福祉大学三田病院 内科 教授・D60)

特別講演 (2) 「頸部内頸動脈狭窄と頭蓋底部内頸動脈瘤に対する血管内治療と外科手術」

講師 反町 隆俊 先生 (新潟大学脳研究所 脳神経外科分野 准教授・D60)

- **第 50 回文月会総会 (有壬会東京支部連合会との合同総会)**

平成 23 年 1 月 22 日 (土) アルカディア市ヶ谷 (東京) にて開催

特別講演 (1) 「航空分野の安全に学ぶ」

講師 石橋 明 先生 (東北大学大学院工学研究科 教授)

特別講演 (2) 「内視鏡医の挑戦 - 消化管腫瘍をどこまで治せるか -」

講師 矢作 直久 先生 (慶應義塾大学医学部 腫瘍センター低侵襲療法研究開発部門 教授・

D62)

- **第49回文月会総会**

平成22年7月3日（土）住友化学参宮寮（東京）にて開催

特別講演 (1) 「アミロイドーシスとその病因蛋白」

講師 山田 俊幸 先生 先生（自治医科大学臨床検査医学 教授・D59）

特別講演 (2) 「心房細動の薬物治療 - アップストリームへの挑戦 -」

講師 庭野 慎一 先生（北里大学医学部循環器内科学診療 教授・D59）

- **第48回文月会総会（有壬会東京支部連合会との合同総会）**

平成22年1月23日（土）アルカディア市ヶ谷（東京）にて開催

特別講演 (1) 「埼玉県における周産期医療の現状」

講師 関 博之 先生（埼玉医科大学総合医療センター 教授・D54）

特別講演 (2) 「腎疾患のゲノム医科学」

講師 成田 一衛 先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科 教授・D58）

- **第47回文月会総会**

平成21年7月11日（土）住友化学参宮寮（東京）にて開催

特別講演 (1) 「脂質代謝異常と認知症」

講師 三井田 孝 先生（順天堂大学医学部 教授・D58）

特別講演 (2) 「病理学的エビデンスを重視する最近の乳がん診療」

講師 黒住 昌史 先生 (埼玉県立がんセンター病理診断科 部長・D53)

- **第46回文月会総会 (有壬会東京支部連合会との合同総会)**

平成 21 年 1 月 24 日 (土) アルカディア市ヶ谷 (東京) にて開催

特別講演 (1) 第一部「眼の移植免疫反応の不思議」 第二部「日本の女性医師の生き方」

講師 堀 純子 先生 (日本医科大学眼科 准教授・DH02)

特別講演 (2) 「心に火をつける」

講師 松尾 修吾 氏 (ソニー・ミュージックエンタテインメント 元・社長)

- **第45回文月会総会**

平成 20 年 7 月 12 日 (土) 住友化学参宮寮 (東京) にて開催

特別講演「日本学士院賞受賞に関連して」

講師 和賀井 敏夫 先生 (順天堂大学 名誉教授・B24)

- **第44回文月会総会 (有壬会東京支部連合会との合同総会)**

平成 20 年 1 月 26 日 (土) アルカディア市ヶ谷 (東京) にて開催

特別講演 (1) 「NASH 治療への挑戦」

講師 米山 博之 先生 (ステリック再生医科学研究所 所長・DH5)

特別講演 (2) 「大腸がんでは死なさない」

講師 工藤 進英 先生 (昭和大学医学部 教授・D48)

- **第43回文月会総会**

平成19年7月14日(土) 住友化学参宮寮(東京)にて開催

特別講演 (1) 「多発性骨髄腫の診断と治療の新展開」

講師 鈴木 憲史 先生 (日本赤十字社医療センター血液内科 部長・D51)

特別講演 (2) 「糖尿病眼合併症に対する最近の治療」

講師 加藤 聡 先生 (東京大学大学院感覚運動機能医学講座 眼科・視覚矯正科 准教授・D62)

- **第42回文月会 (有壬会東京支部連合会との合同総会)**

平成19年1月27日(土) アルカディア市ヶ谷(東京)にて開催

特別講演 (1) 「プリオン病研究の現状と課題」

講師 金子 清俊 先生 (東京医科大学医学部神経生理学講座 教授・D58)

特別講演 (2) 「沈黙の臓器に潜むサイレントキラー：C型肝炎ウイルス」

講師 市田 隆文 先生 (順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科 教授・D50)

- **第41回文月会総会**

平成18年7月8日（土）アルカディア市ヶ谷（東京）にて開催

特別講演（1）「国際協力に望むこと」

講師 小早川 隆敏 先生（東京女子医科大学国際環境-熱帯医学教室 主任教授・D45）

特別講演（2）「グローバルレベルの疾患コントロール：ポリオに学ぶ」

講師 宮村 達男 先生（国立感染症研究所 所長・D45）

- **第40回文月会総会（有壬会東京支部連合会との合同総会）**

平成18年1月28日（土）アルカディア市ヶ谷（東京）にて開催

特別講演（1）「小児医療の現状と問題点」

講師 田中 葉子 先生（東京歯科大学市川総合病院 小児科学教授・D53）

特別講演（2）「日本臨床内科医会と東京内科医会の活動」

講師 望月 紘一 先生（東京内科医会 会長・D42）

- **第39回文月会総会**

平成17年7月9日（土）アルカディア市ヶ谷（東京）にて開催

特別講演「血液学・最近の話題」

講師：小松 則夫 先生（山梨大学血液内科 教授・D56）